



健康ジャーナル

■発行所/有限会社 太陽エージェンシー ■編集部/東京都荒川区町屋3-2-1 ライオンズプラザ115 ■問い合わせ/TEL 03-5855-1190 FAX 03-5855-0251
 ■年間購読料/12,000円(税、送料込み) デジタル版/9,600円(税込み) ■郵便振替/00190-3-54248

健康・美容おもしろ商品発掘プロジェクト アイデアコーナー

このコーナーは、一般の方の発明品を紹介するコーナーです。すでに商品化されたモノ、これから商品化するモノも含めて随時このコラムで紹介していきます。掲載された商品に興味のある方は下記までご一報下さい。

第16回

膝間力計測器

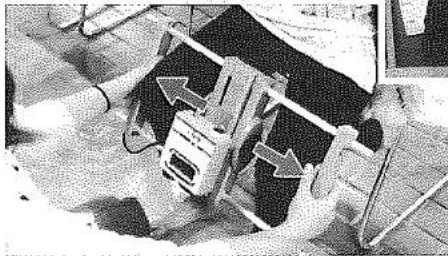
「ふんばり力 チェツカー くん」

発明ガイドブック発明ライフ・入門(600円)を
 読む「プレゼント」応募はメール(左記)に

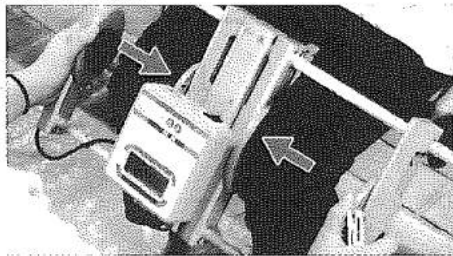
〈この商品のお問い合わせは〉
 一般社団法人 発明学会 広報担当 松野KJ係まで
 〒162-0055 東京都新宿区余丁町7番1号発明学会ビル
 03(57596)8811 y-matsuno@hatsumeij.or.jp



発明者の山下和彦さん



膝を力いっぱい広げて、外転筋を測定



膝を力いっぱい閉じて、内転筋を測定

この発明品は、股関節の内転(膝を閉じる)と外転(膝を開く)の筋力を計測できる測定具です。腰回りや太もも周辺の筋肉は、骨盤をがっちり支える役割を持っています。歩いたり、走ったり、人間が活動する際に最も関係する部分です。また、歩行や活動中に発生する、膝や腰への衝撃を吸収する役割も持っています。

しかし、この部分の筋力が弱かったらどうでしょう。歩行はよろよろして、バランスを取ることができなくなり、転倒しやすくなります。「転倒骨折」は、お年寄りにとって寝たきりの原因になる特に切実

な問題です。寝たきりになれば、原因となる全身の筋力低下にもつながってしまいます。つまり、自分の筋力を日々把握し、転倒リスクを認識することは、まず一番最初にやるべき予防法と言えるのです。

「ふんばり力チェツカーくん」の使い方はとってもカンタン。イスに腰掛けて、パッドで両足の膝関節の左右突起部を挟むように取りつけたら準備完了。測定ボタンを押したのち、膝を力いっぱい閉じれば内転の筋力を、膝を力いっぱい開けば外転の筋力を、数値化し計る事ができます。筋力を

計測できるため、お年寄りの転倒予防の筋力評価だけでなく、スポーツ選手のための筋力計測や、子供の骨、筋力が適切に成長しているかを、膝間力の筋力計測で確認することに活用できる優れたものです。

発明したのは、現在、大阪大学大学院、医学系研究科バイオデザイン学共同研究講座特任教授、工学博士の山下和彦先生。今後、老人ホームや福祉施設などのほか、フィットネススクラブやスポーツクラブ、各学校機関などでも、普及が期待できる発明品です。(松野泰明)